

集落支援員～取組事例～①

長野県松川町

まつかわまち

(平成29年度:6名)

【概要】

・地域おこし協力隊とともに、集落住民の生きがいづくりや誇りの醸成に取り組む。

【活動内容】

- ・交流人口の拡大に向けて、外部有識者や住民で構成する観光交流地域づくり戦略会議をコーディネート
- ・集落独自の価値を体感できる滞在交流プログラムを住民とともに構築

【ポイント】

・地域おこし協力隊とともに活動することで、地域内外の視点を活かし、より魅力ある滞在プログラムとなるよう取り組んでいる。



長野県白馬村

はくばむら

(平成29年度:2名)

【概要】

・村内に2名配置。小規模集落を中心に、集落点検の実施や話し合いへの参加のほか、住民の生活上の困りごとの相談役としても活動。

【活動内容】

- ・奥地の集落に住む高齢者への声かけ
- ・外国人住民との懇談会への参加
- ・小規模集落の普請補助

【ポイント】

・2名のうち、一方は白馬村の出身者、もう一方は移住者で、職歴等も全く異なる。異なったノウハウを持つ支援員を配置することにより、地域の課題を幅広くカバーしている。



和歌山県紀美野町

きみのちよう

(平成29年度:10名)

【概要】

・看護師資格を持った2名の支援員が、定期訪問等の高齢者支援活動を行う。

【活動内容】

- ・独居高齢者、要配慮者宅の訪問。生活や身体の状態を聞き取りし、困りごとや相談があれば各関係機関に橋渡しをする。
- ・民生委員、児童委員と協力し、高齢者等の情報を共有して、見守り体制を強化

【ポイント】

・交通機関が少なく病院に行きにくい高齢者が多いという地域の实情に合わせた集落支援員を配置することで、細かい目配りができ、住民から好評を得ている。



山口県長門市

ながとし

(平成29年度:4名)

【概要】

・共通の課題を抱える複数の自治会や、地域づくり活動に取り組む団体で設立した「地域づくり協議会」のコーディネートを行う。

【活動内容】

・集落支援員が調整役となって、自治会単位や地域活動団体、協議会全体など、様々なレベルでワークショップを複数回開催し、地域の意見をくみ上げることで、まちづくりプラン(地域の夢プラン)の策定に結びつける。

【ポイント】

・協議会の下部組織では、高齢者サロンの実施等の地域おこし活動にも取り組んでおり、集落支援員が地域での話し合いの推進や地域おこし活動に多角的に取り組んでいる。



集落支援員～取組事例～②

高知県室戸市

(平成29年度:2名)

【概要】

・中山間地域に1名配置し、現在活動する地域おこし協力隊と連携しながら地域づくり活動を実施。

【活動内容】

- ・高齢者が栽培した野菜を集荷し、市内直売所へ代理出荷する「庭先出荷」を実施
- ・地域住民グループによる特産品作りを支援
- ・高齢者によるコミュニティ活動の運営支援

【ポイント】

・集落支援員自身も元地域おこし協力隊であり、当時の経験や地域とのネットワークを活用し、引き続き地域で幅広く活動している。



高知県安芸市

(平成29年度:1名)

【概要】

・人口減少、高齢化が著しい畑山地域において、集落点検や高齢世帯の見守り等を実施。

【活動内容】

- ・住民が市職員等も交えて地域の課題を話し合う「まちづくり懇談会」をコーディネートし、住民と行政の間話し合いを推進
- ・山間部の住民の家への声かけ、道路の異常の有無等の点検・報告

【ポイント】

・集落支援員の呼びかけにより、畑山地域出身者等により構成される「畑山山援隊」が組織され、交流施設におけるイベントが開催されるなど、地域外住民も交えた地域おこし活動につながっている。



大分県宇佐市

(平成29年度:18名)

【概要】

・集落支援員が小学校区毎に設立された地域運営組織の中心メンバーとなって活動し、地域の将来像を描いた「まちづくり計画書」の策定や地域おこし活動に取り組む。

【活動内容】

- ・集落点検や、住民アンケートを実施し、「まちづくり計画書」を策定
- ・集落支援員同士の情報交換会の実施
- ・子育て支援、高齢者支援等の地域おこし活動

【ポイント】

・大学と連携してワークショップを開催し、地域運営組織の体制見直しや将来の人口分析、これまでの活動の振り返りなどを行い、引き続き、地域の将来像を描くための活動を行っている。



沖縄県名護市

(平成29年度:4名)

【概要】

・市域が広域であり、各地域の課題も多岐にわたることから、旧村単位で集落支援員を配置し、各地域の現状把握や課題解決の支援を行う。

【活動内容】

- ・各地域が行う、地域資源を生かした地域おこし事業の支援
- ・地域が行う移住受け入れの支援活動、移住後のフォローアップ
- ・各地域が地域づくり活動を円滑に行うための関係団体のネットワーク構築支援

【ポイント】

・持続可能な地域づくりのため、集落支援員自身が前面に立って企画運営を行うのではなく、住民主体の取組への支援を中心に活動している。

